

「平成 24 年度 鎌倉市農業振興協議会報告書(案)」への意見一覧

- 長い目で見ると農業をやりやすい環境を作ることが必要ではないかと思えます。市で、支援、育成の環境を作ってもらえればいいかなと思えます。農業を代々続けていけるような環境作りとして、いろいろな企画（他市では、婚活パーティーのようなことも）を積極的にやっている地域もあります。補助金もいいですが、農業を続けやすい環境作りへの支援をしてもらいたいです。
- 「人・農地プラン」の作成は、大変難しい問題だと思いますが、「担い手を地域で考えること」について、担い手にどのような人がいて、その新規参加者は本当にその地域にいるのか。発掘するという視点からすると、プランを作るための集会を行い、地域の人達と話し合いをしていくことは本当に大切な一歩だと思います。話し合いを行うことで、地域が繋がっていくと思えます。今後これを推し進めていく必要性があると思えます。
- 新規参加者が、本当に農業をやりたいが、農家のつらい話を聞いたり、いろいろな制約を聞くと、農業をする意欲を失ってしまい、なかなか新たな担い手が見つからないということもあります。
作業を手伝う援農ボランティアを受け入れるという方法もあると思えます。
- 今の若い人達は農業に関心を持っている人が多いのではないかと思います。若い人達を中心とした体験農園をやってみるのはいかがでしょうか。この間のアンケートを見ても、若い人達の方が年を取っている人達より農作業に興味を持っている人が多いという結果が出ていたので、ぜひ試してみたいと思います。
- 農業をする人が楽しく出来るように、地域全体で盛り上げて、農業をしやすい環境作りをすることが一番大切だと思います。先程意見がありましたが、交流の場のような、ちょっと農業をしてみたいという若い人達が体験できるような企画があったら、それを通じて出会いの場にもなりますし、鎌倉やさいの魅力も感じていただきながら、もっと発展していけるのではないかと思います。